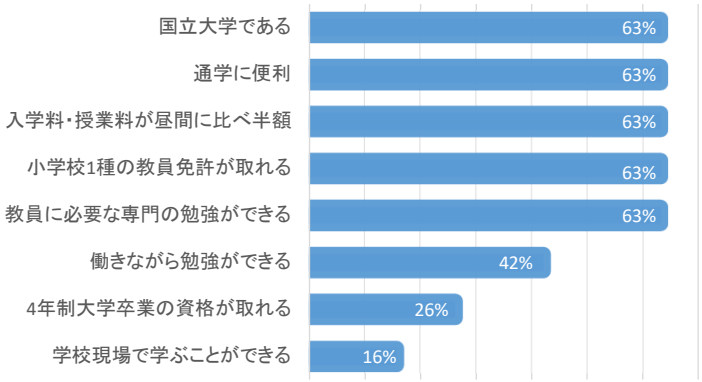
編入学生の本音
－REAL VOICES－

編入学生を対象にしたアンケート結果（2025/11,2026/6）
受験前の魅力・受験対策・入学前に知りたかったこと・入学して良かったことを紹介

アンケートⅠ
受験前に感じていた**大阪教育大学の魅力**は？
（有効回答人数１９人。複数回答可）



アンケートⅡ
入学して良かったと思うことは？

- 教員志望の学生で志が高い方が多いことと、編入生にはさまざまな年代の方がいて楽しいこと。
- 優秀な先生方が多く、授業が楽しく、大変勉強になり、実践にいかせること。
- 私は小学校二種免許を持って入学したため、実習の必要がありませんでした。他の学生に比べて卒業の大変さがそこまで大きくないのは１つのメリットだったと感じています。
  また、給付型奨学金をもらっているので、学費が実質０円で過ごせるのは大きいメリットでした。私の場合は、３回生の時に稼ぎすぎたため半期分の学費を支払う必要ができましたが、しっかり計算しておけば人によっては、学費無しで学士が取得できるので、条件が揃えばかなり充実した選択肢になるのではと思います。
- 良い友達や先生に出会えました。教師になりたい気持ちを持ちながら、大学院に進学する選択肢もひらけました。
- とにかくお昼の時間が空いてること。
- 国立大学の教育学部ということで、教員をめざす向上心の高い人たちが周りに多く、切磋琢磨し合える環境です。夜間ということに抵抗がありましたが、入学してみると何も気にならず、お昼は働いたり好きなことに時間を使うことができるので充実した日々を過ごしています。
- キャンパスが天王寺にあるので通いやすい、学費が安い、少人数なのでほぼ全員と顔見知りになれる、授業がグループワークなどのワーク多めで体験的に学べる、ということ。
- 小学校についての専門的なことについて学べること。
- 在学生との関わりのひとつである天王寺キャンパスの四大行事の実行委員を行ったことで、縦横の繋がりはもちろん、新たな自分が見つかる機会になりました。
- 国立大学なので周りからいい印象を受ける、附属の小学校と公立の小学校の2つで教育実習を経験できるのでとてもいい経験になる、授業が面白い、昼間の時間でスクールサポーターとして小学校でアルバイトをすることができるので、小学校の実態を知ることができる、ということです。また、編入前は教師になろうか迷っていましたが、児童と関わる中で教師になりたいという気持ちが強くなりました。教員採用試験の面接指導もしっかりと行ってくれるので、試験前は不安もありましたが合格することができたのでよかったです。
- 教育の理論的な内容を勉強できたこと。
- 話し合いできるような人が多いこと。
- 同じ道をめざす仲間と出会えたこと。一緒に編入学した同期は、わざわざ編入学するだけあって教職に対して強い志を持っている学生が多いです。そのような学生とともに学ぶことが出来ているのが、入学して良かったと感じる点です。
- 概ね授業の内容がよいこと。
- 前の大学と比べて、学生がフレンドリーであること、先生方がお優しいこと。それにより、かなり通いやすい環境が整っていること。また、授業によっては「将来こんな教員みたいになりたい」という理想像を描きやすくなる機会も割とあるので、非常に充実した学生生活が送れていると感じます。

アンケートⅢ
入学前に知っておきたかったことは？

- 試験の過去問があること。周囲の人たちは知っていたようですが私は知らなかったので、学校紹介のオープンキャンパスなどで情報を受験生に提供すると個人で取り組む受験生にとっては有益な情報になるのではと感じています。
- 資格がともなう学部ですが、授業の履修などは自己責任なことです。編入学のため、学生によって受ける必要がある授業や時間割などが異なります。1年生から通っている学生よりも、自己責任で管理する必要があると感じています。
- 単位認定が教職を取っているかいないかで変わるので、教職課程を前の大学でも取り、少しでも単位認定を増やせばよかったと思いました。
- 教育実習の期間と回数を予め知りたかったです。業務の関係で教育実習中、有休を取る必要があるためです。
- 単位認定されるまでの期間が非常にかかることと単位認定がそのまま反映されないことです。
- 自分の専門性（教科）を高めるための選択肢（履修できる講義、設備など）が少ないことです。
- 人によって違いますが、大体どのような時間割になるのかどうかは入学前に知ることができると良いなと思いました。
- サークルに入る場合あだ名で呼ぶ制度がある（馴染めないときつい）ことと、授業で毎回かぶる人がいるわけではないから友達作りが難しいことです。
- そこまで学生同士のつながりはなかった気がします。夜間なので授業を受けて帰るだけなので、1人が好きな人にはぴったりだと思います。
- 暫定的でいいのでカリキュラム。特にいつ授業があってどう取らなければならないのかという情報。
- ゼミについてもっと知っておきたかったです。
  編入生は人数が少ないので、新入生歓迎会などに積極的に参加して上や横とのつながりを作っておくと進学や単位、アルバイトなど学生生活に関する情報を集めやすいということ。
  4, 5年次の教育実習以外にも、インターンシップ体験や実習があること。

アンケートⅣ
どんな**受験対策**をしましたか？

- 過去問を参考に、小論文の出題傾向を読み取り、小論文を書く際のポイントを押さえました。集団面接は、今現在問題になっている教育のトピックをいつくか考え、はっきりと自分の意見を伝えられるようにしました。
- 常日頃から教育に関連するニュースには特に敏感になり、そこに自分なりの考え・対策法などを必ず持つようにしていました。
- 小論文と面接で選考が行われたため、小論文の過去問題を解いたり、時事対策として教育関連のニュースを読んだりしました。また自分がなぜ編入学したいのか、どのような経緯で受験に至ったのかを改めて考え、志望動機を聞かれても確実に答えられるように対策しました。
- 日本弁護士会が編集した学校に関する事件の裁判例集を読みました。
- 小論文対策の予備校の12回講座を受けた。
- 編入予備校に通ってました。小論文の添削をしてもらいました。それに加え、教育に関する学術書や新書を読みあさりました。小論文の引き出しを増やすために、教育社会学の本を特に多く読みました。
- 小論文対策の教材を買い、一週間に一題、知り合いに添削もしてもらいながら学習を継続するようにした。また、チャットGPTを使い近年の教育問題に対して議論を行なったり、家族とも討論したりして知見や関心を深めた。
- 過去問などがあることを知らなかったので、短大の大学編入コースで小論文の対策をメインにしていました。具体的には新聞を読み、それの要約や自分の考えをきれいに書けるように取り組みました。
  面接は予想される質問に対して、自分の意見を簡潔に伝えられるように練習しました。ただ、実際に面接練習をする機会は少なかったので、考えた回答を日常生活の中で思い出しながら文章の試行錯誤を繰り返しました。
- 大学院・大学編入学社会人入試の小論文（実務教育出版）を使って勉強しました。
- 過去問や、小論文対策の参考書を用いて小論文を書く練習を行った。また、教育関係のニュースをチェックし、それに対して自分なりの意見を考える習慣を心がけていた。

出願期間　｜令和8年12月10日（木）～12月16日（水）（必着）
入試実施日｜令和9年1月31日（日）

［入試に関するお問い合わせ］大阪教育大学入試課
TEL　072-978-3323（問い合わせ時間：平日9:00～17:00）

［アンケート担当］大阪教育大学天王寺地区総務課学務係
TEL　06-6775-6677（問い合わせ時間：平日13:00～21:00）